

バステイン研究会 in 東京 月例講座 報告

(2012年11月分、毎月第2木曜日 10:00~12:00 開講)

♪ピアノベーシックスレベル2の講座報告と、参加者アンケートから出たQ&Aです。

2012年11月8日

「ベーシックスレベル3」

講師：高橋 悅

伴奏が変わると音楽も変わる

いろいろな伴奏形 マイナー グループ3の調を学びます

(受講者34名)

* p4 「サタデーナイトブギ」は新しい伴奏形“ブギバス”的学習をしました。またポジションの移動をおこないながら伴奏形の学習、重音の上の音を出す・等テクニックの広がりも学びます。

* p6 - p8 平行調の短音階は本に書いてある文章を生徒と読むことが大切です。「ラクダのキャラバン」ではブギバス、マイナー、和声的短音階に加え、2音のフレーズのダウンアップの奏法を学ぶ曲になっています。アップする時のタイミングをわからせるため、グーモーションのおさらい、また生徒が手をあげるときに少し補助してあげるとよいです。

* p10 長三和音と短三和音は和音の響きの違いを感じることも大切です。スケールの中の第1音、第3音、第5音を指だけで押さえれば弾けますが、和音の音程の違いなどの和音の仕組みをしっかり理解すると、レベル4に入った時スムーズに進むことができます。

* p12 マイナーのコードネームが小文字ででていること、V7はメージャーもマイナーも同じであることに気づかせます。また、○が付いているところは指使いに気をつける場所ですので、注意させてから弾かせるとよいです。

* p13 楽譜をみて、今まで学習をした事を見つけさせます。10個くらいある中の5個くらい見つけることができるといいのではないでしょうか。また、アナリーゼをしてから弾かせることも大切です。

* p14 “ブローカンコードバス”を学習しました。I IV V7を確認して、必ずブロックコード

で弾かせます。「指をひろげて」のところは音の行方を考えてクレッシェンドを意識して弾くとよいそうです。

- * p 18 転回形はレベル 2 では主に和音進行ために学習しましたが、レベル 3 ではブローカンコード（分散和音）もメローディー、伴奏に用いて音楽の広がりを作っています。オリジナル教具の「転回形と指使い」を参考に手の形を復習しました。ここでは、4 度音程にもついていくための転回形（根音は 4 度音程の上の音）ということを意識させることが大切だとわかりました。

- * p 22 「三連符」は 3 つの果物に例えてリズム打ちを体験しました。（リンゴ・バナナ・スイカ等）その後拍子でのリズム練習と最初は丁寧に学習すると良いです。



- * p 23 自分にとっての **ff** と **pp** はどれくらいの音なのか音をださせて体験させてから弾かせるといいようです。

- * p 28 スケールの中の 8 度であることを鍵盤上で確認しました。また、セオリー p 15 の加線では、大譜表に 5 つのドの音を書いて楽しむオクターブを覚えました。



- * p 30 “ワルツバス”を感じるため、八の字をかくような指揮を全員で体験しました。

- * p 32 “アルベルティバス”的学習をしました。まず、テクニック p 17 の練習をし、感覚やタイミングを覚えてから曲を弾くとよいとわかりました。

- * p 34 半音階は指使いの仕組みを守れば、どの音からも弾けることが特徴です。仕組みが分かつて弾くと楽に弾けます。練習の時は、指番号をいいながら弾かせると効果的です。

* p 38 ♯のつく順番を動作をつけて体験し、調号カードを使って ♯の主音の見つけ方を学習しました。

* p 39 グループ 3 の調 D ♯ A ♯ E ♯ メージャーの I の和音 (●○●) の確認をしました。テトラコードを組み合わせて音階、その上に和音を作り仕組みを再度確認しました。



* レベル 3 では主に伴奏形、平行調の学習、また有名な作曲家の曲、奏法や記号も多くなってきました。ただ弾くだけではなく、自分でいろいろなことに気づき調べて弾けるようになって音楽の広がりを感じてほしいと思いました。

【併用曲集】

♪ コラージュソロ 4 白鳥のワルツ

レポート M. I.



Q&A アンケートのご質問にお答えします



2012.11.8 レベル3

1. Q パーティーDの段階でスケールに興味を持ち自力で弾こうとする生徒がいます。指使いを間違えても困るのでどうしたらよいですか？

A とても好奇心がある素晴らしい生徒さんですね。指使いの基本を楽譜なしで教えられたらいかがでしょうか？C、G、D、A、Eポジションは同じ指使いですので学習しやすいと思います。

2. Q 指使いを守らない、チェックしないと気が付かない生徒がいますがどのように工夫したらよいですか？

A 初めにスケールを練習する時が大切だと思います。片手ずつしっかり指使いを言いながら弾く、片手が合格したら両手を弾く、を約束とします。レベル3からは指使いも複雑になりますので、必ずチェックしています。曲の中では弾く前に本人に確認してもらいます。

3. ドイツ語で指導しつつバスティンメソードを使用しています。子供が混乱しないように何か良い方法がありますか？

A 音名表（教具）を見せたりノートにドイツ語、英語、日本語で一覧表を書いたりして指導していますが、生徒は指導者が思うほどには混乱しませんので是非英語もお使い下さい。

4. Q レベル2での併用曲はどのような曲がありますか？

A バスティン名曲集1、中級レパートリー1などにはバッハ、ベートーヴェン、シューマン、カバレフスキイなどの曲がありますのでご参考になるかと思います。

5. Q 他の教室から移動してきた生徒に多いのですが手の形が安定しません。小さい生徒はパーティーシリーズに移行しましたが小学3、4年生にはそのままの教材を使っています。体系的に学ばないのはもったいない気がして躊躇しています。

A やはり全部移行することは生徒も大変だと思いますので、レベル1、2（理解度をみて）のピアノのおけいこ、セオリーを加えて、今までの本は併用曲集として進めることができます。体系的に学習する方が生徒も楽ですので段々こちらのペースに乗ってくれることが多いです。生徒の様子を見ながら進めて行くことが大切かと思います。

6. Q コードを全部覚えることは大変ですがどのように覚えたらいですか？

A バスティンメソードで学習していくと覚えられます。私も生徒と共に覚えていました。鍵盤で覚える、弾く、理論的なことを学習する、という積み重ねで覚えられます。レベル4で増三和音、減三和音まで学習します。

7. Q テクニック p. 32の「テクニックの宿題」のページはどのように使いますか？

A 特別な使い方はしていませんが、和音を書き、弾く、指使いの間違えやすい個所を書き、練習していく・・・などに使っていますが自由にお使いになってよろしいと思います。

8. Q 30分レッスンで4冊（テクニックは別の教本）を進めることができますがどのようにしていますか？

A ピアノのおけいこ 15分（宿題の曲を深く学習する事に時間をかける時と新しい学習内容の説明に時間をかける時があります。）テクニック5分から10分、パフォーマンス5分～10分、セオリーは宿題（残って教室で済ませていく生徒もいます。）のように進めています。同じ学習内容での宿題ですので説明が少なくて済みます。譜読みがよくできてきたと他の教材を含めてもスムーズに進められるようになります（高橋）

A その生徒がどれくらいどの本を練習してきたかで、違ってきます。

だいたいは、「ピアノのおけいこ」を主に時間をかけますが、その生徒が「テクニック」を沢山練習してきたらそこに時間を賭けることもあります。パフォーマンスも同じく。

その生徒にとって、今どこを重視するかで、違います。

セオリーは宿題に出し、答えあわせをしてわからなかつたところを、やりますが30分のレッスン時間で足りないのでグループレッスンで何人か一緒にやります。（大見）

A その日のレッスンで大事な事に時間をとるので毎回テキストにかける時間バランスは違います。私は教えたい事をセオリーから入ることが多いです。出来なかったテキストは次の週のはじめに使います。(池田)

A 30分のレッスンで全部はきついですよね バステイン先生は 個人レッスンとグループレッスンの2本立てでレッスンなさっています・

私も月1回ですが グループレッスン取り入れることで随分余裕が出てきました。(小西)

*テトラコードの説明がわかりやすかったです。

*グループ分けでIの和音の長三和音、短三和音の図解がわかりやすかったです。

*コードネームの説明が良かったです。

*難しい内容でも噛み碎いて進めることができたと思います。自分の勉強が必要だと思いました。

*併用曲の紹介が良かったです。

*他の曲集が併用できると聞きどんどん進めたいと思いました。

有難うございました。

レベル3 高橋悦